インフルエンザ予防接種保護者同意書

(この同意書が利用できるのは高校生以上のみです)

【保護者が同伴する場合】

この説明書を必ず読んで、十分理解し、納得されたうえで、お子さまに接種させることを決めて、接種当日予診票を記入して持参し、医師の説明診察を受けて、接種を受けてください。 その際、裏面の予診票の「保護者自署」欄に署名をしてください。

[※ 接種者が既婚者の場合には、本人自署のみで保護者の同伴(自署)は必要ありません]

【保護者が同伴しない場合】

この説明書を必ず読んで、十分理解し、納得されたうえで、お子さまに接種させることを決めて、次の「保護者が同伴できない場合の保護者自署欄」及び 予診票の「保護者自署」の欄にあらかじめ署名のうえ、接種当日この用紙を必ずお子さまに持参させてください。

保護者が同伴できない場合の保護者自署欄の署名が必ず必要です

保護者が同伴できない場合の保護者自署欄

予防接種を受けるにあたっての説明を読み、予防接種の効果や目的、重 篤な副反応発症の可能性及び予防接種救済制度などについて理解したうえで、子どもに 接種させることに同意します。

なお、本説明書は、保護者の方に予防接種に対する理解を深める目的のために作成されたことを理解のうえ、本様式が大阪市に提出されることに同意します。

保護者自署

住 所 大阪市

緊急の連絡先

【厚生労働省 定期(一類疾病)の予防接種実施要領:第1総論-9 (様式第4)】

予診票にも保護者の署名が必要です。

署名がなければ予防接種は受けられませんのでご注意ください =

インフルエンザ予防接種予診票

任意接種用

分

時

年

接種日時: 平成

月

日

※接種希望の方は、太ワク内のみご記入ください。回答欄にはどちらかに○印をつけてください。 度 分 診察前の体温 ※お子さんの場合には、健康状態をよく把握している保護者がご記入ください。 TEL () 所 住 明治 フリガナ 男 生年 大正 日生 年 月 受ける人の氏名 昭和 女 月日 カ月) 平成 (歳 (保護者の氏名) 医師記入欄 答 欄 質問事項 1. 今日受ける予防接種について説明文(表面)を読んで理解しましたか。 はい いいえ 2. 今日受けるインフルエンザ予防接種は今シーズン1回目ですか。 いいえ (回目) はい ない ある (具体的に) 3. 今日、体に具合の悪いところがありますか。 はい (病名) 4. 現在、何かの病気で医師にかかっていますか。 いいえ 薬をのんでいますか(いる・いない) 5. 最近1ヵ月以内に熱が出たり、病気にかかりましたか。 いいえ はい(病名) 6. 今までに特別な病気(心臓血管系・腎臓・肝臓・血液疾患、免疫不全 いる (病名) いない 症、その他の病気)にかかり医師の診察を受けていますか。 ("いる"の場合)その主治医に、今日の予防接種を受けてよいと はい いいえ 言われましたか。 7. これまで間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患と診断され、 はい 月ごろ いいえ (現在治療中・治療していない) 現在、治療中ですか。 いいえ 8. 近親者に先天性免疫不全と診断された方がいますか。 はい 9. 今までにけいれん(ひきつけ)をおこしたことがありますか。 回ぐらい ある ない 月ごろ 缶 最後は 10.薬や食品(鶏肉、鶏卵など)で皮膚に発しんや蕁麻疹が出た ある(薬または食品の名前) ない り、体の具合が悪くなったことがありますか。 11.これまでに予防接種を受けて特に具合が悪くなったことがありましある(予防接種名・症状) ない すか。 12.1ヵ月以内に近親者や周囲で麻しん(はしか)、風しん、水痘 いる(病名) いない (みずぼうそう)、おたふくかぜなどにかかった方がいますか。 いいえ 13.最近1ヵ月以内に予防接種を受けましたか。 はい (予防接種名: いいえ 14. (女性の方に) 現在妊娠していますか。 はい ある (具体的に) 15. (接種を受けられる方がお子さんの場合) 分娩時、出生時、乳幼児健診などで異常がありましたか。 ない 出生体重() g 16.今日の予防接種について質問がありますか。 ある (具体的に) ない 医師記入欄 以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は (実施できる・見合わせた方が良い)と判断します。 本人または保護者に対して、予防接種の効果、副反応及び医薬品医療機器総合機構法に基づく救済について説明しま した。 医師署名又は記名押印 本人(保護者)記入欄 医師の診察・説明を受け、予防接種の効果や副反応などについて理解した上で接種することに (同意します ・ 同意しません)。 (なお被接種者が自署できない場合は代筆者が) 署名し、被接種者との続柄を記載してください。) (代筆者の場合:続柄 署名 実施場所・医師名・接種日時 使用ワクチン名 用法・用量 実施場所: 皮下接種 □インフルエンザHAワクチン「生研」 □ 0.5mL □インフルエンザHAワクチン「KMB」 医師名: (3歳以上) カルテNo.: Lot No.: □ 0.25mL

(6ヵ月以上3歳未満)

記載頂きました個人情報はワクチン接種の予診に関してのみ使用いたします。

(販売:武田薬品工業株式会社)

インフルエンザワクチンの接種について

インフルエンザの予防接種を実施するに当たって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、裏面の予診票にできるだけ詳しくご記入ください。お子さんの場合には、健康状態をよく把握している保護者がご記入ください。

ワクチンの効果と副反応

予防接種により、インフルエンザ感染を予防したり、症状を軽くすることができます。また、インフルエンザによる合併症や死亡を予防することが期待されます。

一方、副反応は一般的に軽微です。注射部位が赤くなる、腫れる、硬くなる、熱をもつ、痛くなる、しびれることがありますが通常は2~3日で消失します。発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、下痢、食欲減退、関節痛、筋肉痛なども起こることがありますが、通常は2~3日で消失します。過敏症として、発しん、蕁麻疹、湿疹、紅斑、多形紅斑、かゆみなどもまれに起こります。強い卵アレルギーのある方は、強い副反応を生じる可能性がありますので必ず医師に申し出てください。

非常にまれですが、次のような副反応が起こることがあります。(1)ショック、アナフィラキシー(蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等)、(2)急性散在性脳脊髄炎(ADEM)(通常、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等)、(3)脳炎・脳症、脊髄炎、視神経炎、(4)ギラン・バレー症候群、(5)けいれん(熱性けいれんを含む)、(6)肝機能障害、黄疸、(7)喘息発作、(8)血小板減少性紫斑病、血小板減少、(9)血管炎(IgA血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、白血球破砕性血管炎等)、(10)間質性肺炎、(11)皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、(12)ネフローゼ症候群。(1)から(12)のような症状が認められたり、疑われた場合は、すぐに医師に申し出てください。なお、健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた人又は近親者が、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づいて手続きを行うことになります。

予防接種を受けることができない人

- 1. 明らかに発熱のある人(37.5℃を超える人)
- 2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- 3. 過去にインフルエンザワクチンの接種を受けて、アナフィラキシーをおこしたことがある人 なお、他の医薬品投与を受けてアナフィラキシーを起こした人は、接種を受ける前に医師にその旨を伝えて判断を仰いでください。
- 4. その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した人

■ 予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない人

- 1. 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの人
- 2. 発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている人
- 3. カゼなどのひきはじめと思われる人
- 4. 予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発しん、蕁麻疹などのアレルギーを疑う異常がみられた人
- 5. 薬の投与又は食事(鶏卵、鶏肉など)で皮膚に発しんが出たり、体に異常をきたしたことのある人
- 6. 今までにけいれんを起こしたことがある人
- 7. 過去に本人や近親者で検査によって免疫状態の異常を指摘されたことのある人
- 8. 妊娠の可能性のある人
- 9. 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患のある人

予防接種を受けた後の注意

- 1. インフルエンザワクチンを受けたあと30分間は、急な副反応が起きることがあります。医療機関にいるなどして、様子を観察し、 医師とすぐ連絡をとれるようにしておきましょう。
- 2. インフルエンザワクチン接種後、1週間は副反応の出現に注意しましょう。
- 3. 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
- 4. 接種当日は、接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- 5. 万一、高熱やけいれん等の異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

あなたの接種予定日			医療機関名			
月当日は受付に	日()				
時	分頃 おこしください		Lhu			近次可能上所謂 夏州 市副 》